

# 爺さんの一人旅 [シンガポール・マレーシア・タイ]

(2015年10月8日～10月30日)

文・写真 長谷 良悦

## 1. 初めに

ANAマイレージの利用期限が近付いてきた。坐骨神経痛は一向に良くならないが、このまま朽ちてしまうのは口惜しい。思い切って出かけることにした。コースは一度ドタキャンしたシンガポール～マレーシア～タイ。はたして、ヨボヨボ老人の一人旅を受け入れてもらえるだろうか。

## 2. 航空券

数年ぶりにANA特典航空券を利用した。以前より予約サイトは使いやすくなっていた。シンガポール10月8日IN、バンコク10月30日OUT。荷物を出来るだけ少なくしたかったので、まだ軽装で出発できる10月の旅にした。

## 3. 情報収集

検索サイトや「地球の歩き方」、以前に会友の河村さんと鈴木さんから頂いていた情報も役立てた。

在マレーシア大使館からヘイズ(煙害)による健康被害注意喚起が出されていたので、マスクを持参した。

## 4. 宿

行き当たりばったりの旅だと、現地で安宿を探すのも旅の楽しみの一つだが、今回は歩行に不安があったので、シンガポール～マラッカ～クアラルンプールまでの日程を固定し、宿はネット(エクスペディア)で予約した。いずれも交通の便が良くクチコミ評価が高いゲストハウスで、無料でキャンセルできる部屋を選んだ。

## 5. 荷物

もう、ザックを背負ったバックパッカースタイルの旅は無理なのでキャリーバックを引くことにした。出来るだけ荷物を軽くしたかったのでPCは持参しなかった。緊急時の通信手段はガラケー携帯電話。ガイドブックが重く感じられた。仙台空港チェックイン時にショルダーバックを含む荷物の総重量を計ったら約8Kgだった。

## 6. 出発

途中で歩けなくなったらどうしよう～と心配が募る。前々回(タイ)は二日前、前回(台湾)は前日が豪雪のために仙台空港が閉鎖。前回はLCCだったので中止を覚悟したが、幸運にも天候が回復し除雪が間に合った。

今回は大丈夫だろうと思っていたら、なんと当日、台風が仙台地方に接近するという天気予報。今回も幸運だった。仙台沖を通過したので暴風雨圏内に入らずなんとか定時に飛んでくれた。

機内食の質は大分落ちたと感じた。



B 7 8 7 乗機



機内食

## 7. シンガポール

日本人に人気のある観光地である。世界遺産など、これと言った観光資源がないのに、なぜ人気があるのか興味があった。

### (1) 空港から宿へ



チャンギ国際空港に深夜着。公共交通機関はすでに無し。乗り合いタクシーで宿へ。タクシーの受付カウンターを探すのに手間取った。暫く待合席で待っていると運転手が現れホテルの名前を呼んだ。小型バスで 9SGD, 乗客は 2 名だった。ホテルの直前まで運んでくれた。

乗り合いタクシー

### (2) 両替

空港と市中で両替した。レートは 1000 円 $\approx$ 11.5SGD。1SGD $\approx$ 87 円

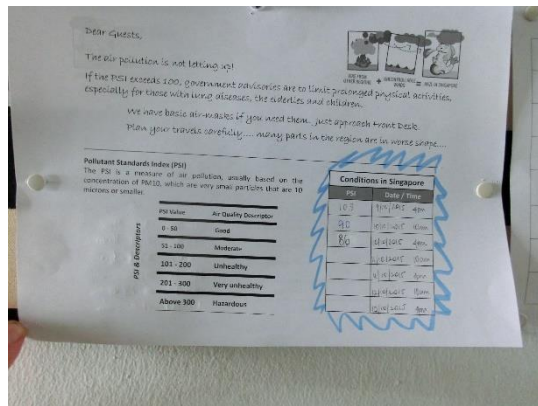
### (3) 宿

シンガポールの宿は東南アジアの中では高い。これまでの旅と同様にゲストハウスをネットで探し、歳を考え、ドミトリー部屋から 1 ランク上げカプセルホテルにした。場所は交通の便が良い中華街の駅の近く。一室に上下二段 10 ベット。下段を開けてくれていたので助かった。トイレ、シャワーは別室。朝食（コンチネンタル）付き。

フロントデスクの壁にヘイズの測定結果が張り出されていた。9 日 103、10 日 86。100 を切ったのでピークは過ぎたようだった。



ホテルのフロント



ヘイズ測定結果

こんなベットで一泊 4281 円 (朝食・税・サ込)。日本のカプセルホテルと比べて設備は落ちるがドミトリーの 2 段ベットよりは快適である。寝るだけなので不満は無し。情報通り空調が効き過ぎるので、持参した冬用下着を着て寝た。



上下二段 10 ベット 収納庫は下部



カプセルベット

#### (4) 交通

MRT とバスが乗り放題のツーリストパスを購入した。三日用で 30SGD、内デポジット 10SGD。パスを返却するとデポジットは戻るが、返却しないで持ち帰り、旅の記念品にした。



ツーリストパス



パス販売所

ネット情報にはツーリストパス・プラス（一日観光バスと遊覧船一回乗船付き、返金なし）もあったが、販売されていなかった。

初回、MRTに乗車する時にスタンダード乗車券を購入した。チャージ式乗車券で6回使用可能、デポジット10セント、6回目に10セントが割引される。



スタンダード乗車券



MRT車内（ベンチの端は敬老席）

## （5）観光

こんな暑さは初めての体験。体調を崩さないように、適宜、宿に戻って休憩しながら観光した。MRTの駅、車中は冷房が効いているので移動時に涼める場所だった。夜は暑さが和らぐので、毎夜、ナイトショーにでかけた。

### a. 憧れのマーライオンとご対面

初のシンガポール観光は、先ず憧れのマーライオンとのご対面。昔は「世界三大ガッカリ」と言われていたが、勢いよく水を吹き出す姿を見て、ガッカリしなかった。ライオン像の回りには中国語が飛び交っていた。夜にも出かけて再会し、「ワンダーフル」ショーを夕涼みがてら鑑賞したが、これは期待外れだった。

マーライオンへの思い入れが深く、別日にセントーサ島のマーライオンにもご対面した。



昼のマーライオン



夜のマーライオン



「ワンダーフル」ショー



セントーサ島のマーライオン

b. オーチャード・ロード

ショッピングには全く興味がなかったがツーリストパス購入時とチキンライスを食べに行った時に散策し高島屋などに入館した。さすが、東南アジアの金融都市のショッピングモールは巨大である。

観光案内所を覗いたらホテルや航空券の手配だけで、期待した観光案内はなかった。日本語のシンガポール市内観光地図を貰ったが役に立たなかった。

c. 中華街（チャイナタウン）

MRT 駅付近は見慣れた観光客相手の土産物屋や飲食店が軒を連ね、路上には露店が溢れていた。

チャイナタウンの歴史を紹介している「チャイナタウン・ヘリテージ・センター」に行ったが工事中で閉館していた。



中華街の繁華街



ヘリテージ・センター 休館中

\* シアン・ホッケン寺院（中国道教寺）

シアン・ホッケン寺院は小さな道教寺で荘厳な雰囲気漂っていた。右隣にはイスラム教の「ナゴール・ダルガー寺院」が建っており、シンガポールの国際色豊かな街並みを感じた。



シアン・ホッケン寺院



本殿



ナゴール・ダルガー寺院



道路掃除しているボランティア

\*スリ・マリアマン寺院（ヒンドゥー教）

スリ・マリアマン寺院はシンガポールの最古の寺院である。覗いたら見所が少ないように感じられ、見学には入場料がかかるのでシンボルの塔門だけ写真撮影した



塔門

d. インド人街（リトル・インディア）

平日と日曜日、二度も出かけた。シンガポール観光で一番面白い所だった。

日曜日はインド系の出稼ぎ労働者が大勢集まり旧交を温めたり情報交換するという情報を得ていた。期待したとおり街中がインド人風の人で溢れ、インドの雰囲気がムンムン。特に青空市場の交流広場は賑っていて、出稼ぎ者の憩いの場になっていた。

両替しようと銀行に入ったらものスゴイ混みよう、出稼ぎで稼いだ金を家族の元に送金しているのだろう。

\* リトル・インディア・アーケード付近



街並み



リトル・インディア・アーケード



アーケード内店舗



アーケード内店舗





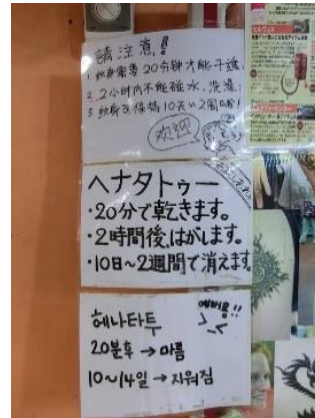
カラフルな店舗



タン・テンニア邸宅跡地



デッカ・センターのフードコート（軒並みインド料理店）



ヘナタトゥー店の外人向け広告

\*ムスタファ・センター付近



街並み（右側がムスタファ・センター）



青空市場





交流広場



何をしているのかな??



レストラン



嗜好品売人（檳榔に類似?）

\*スリ・ヴイラマカリアマン寺院（ヒンドゥー教寺院）

大勢の参拝者で賑わっていた。異教徒の外国人が見学するのを一向に気にしないので、寺院の内部、参拝の様子をユックリ見学できた。参拝の邪魔にならないように注意しながら写真撮影した。



塔門



本殿



本殿



寺院境内

e. アラブ・ストリート

\*サルタン・モスク（イスラム教寺院）

表面入口から入ろうとしたら、礼拝中なのでしょうか、ムスリム以外の上場は禁止だった。周辺を観光後、少し時間をおいて裏口から入場したらお咎めがなかったので、回廊から見学した。

さすが、シンガポールで一番のモスクだけのことはある。美しく見ごたえがあった。



サルタン・モスク外観



清身洗場



礼拝堂



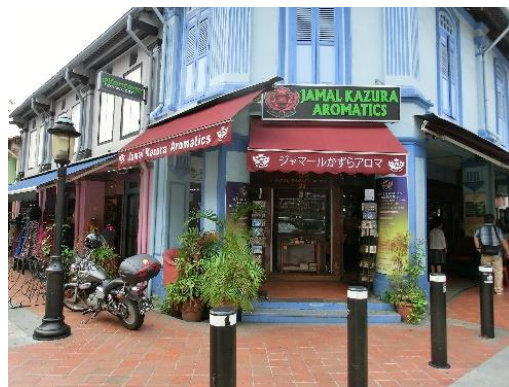
法話かな????



ムスリム女性の観光客

\* 門前商店街

モスク周辺は、アラブ風レストラン、絨毯屋、皿やランタンなどのアラブ系特産品を売る土産店が軒を連ねていた。日本人観光客が多いのだろうか、看板に日本語を併記している店が数軒あった。



ブッソーラ・ストリート



レストラン



水タバコ



アラブ商店

\* マレー・ヘジテージ・センター

博物館にはめぼしい展示物はなかった。広場で民族音楽演奏会がありリハーサルをしていた。売店でシンガポール観光記念にTシャツを購入した。



民族音楽演奏リハーサル



記念に購入したTシャツ (65 は何?)

f. スーパーツリー (ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ)

スーパーツリーは無料で観光できる。ナイトショーを見ようと夕刻から出かけた。5SGDの入場券を購入しスーパーツリーの空中回廊へ上った。エレベーターは30分待ちで乗れた。宮中回廊の目前にはマリーナ・ベイ・サンズがそびえ立ち、眺めは良かった。早めに広場の椅子席を確保し日暮れを待った。ナイトショーを夕涼みしながら鑑賞したが、見ごたえがあった。



スーパーツリー



スーパーツリー・ナイトショー

\* マリーナ・ベイ・サンズ

マリーナ・ベイ・サンズは超巨大な複合リゾート施設だ。特に屋上のプールは有名で日本人観光客にも人気があるが、ホテル宿泊者以外は立ち入り出来ない。スーパーツリー方面へ行く途中にカジノやスケートリンクがあった。庭園やショッピングモールを探検したかったが口惜しいけど体力が持たなくて断念した。



表側（プール側）



裏側

マリーナ・ベイ・サンズ



屋内スケートリンク



MRT ベイフロント 駅出口案内板

g. 国立博物館

国立博物館は荘厳な建物だった。近代史の展示はイギリス統治時代・日本占領時代・戦後独立時代の順になっていた。

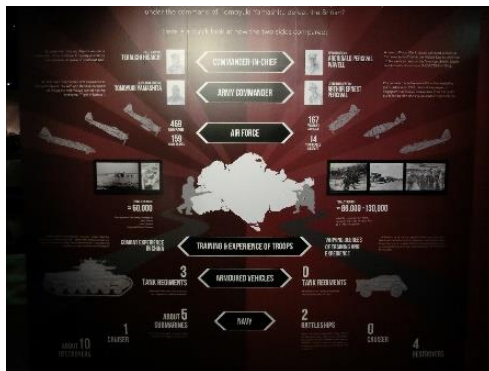
日本と戦争し占領された時代がどのように紹介されているのか興味があったので、歴史展示ギャラリーは時間をかけて見学した。



国立博物館



日本占領時代の展示コーナー



戦力比較



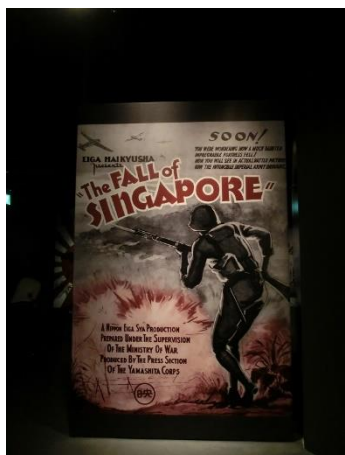
日本軍戦車



自転車部隊



日の丸寄せ書き



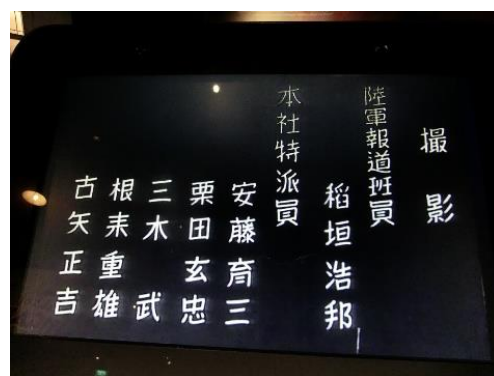
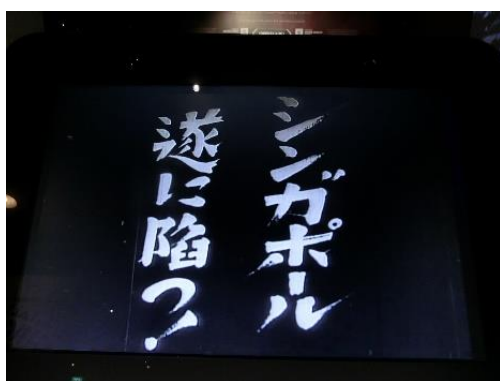
映画ポスター



戦意高揚ポスター

大戦の遺品展示のほかに、朝日新聞が作成した占領時の特集ニュース映画が、大きな映像画面で繰り返し放映されてしていた。初めて見る映像だった。

日本軍は華僑住民を大量虐殺するなど、苛酷な占領政策をしたが、賠償放棄してくれたことに、一国民として感謝しながら展示物を見て回った。



朝日新聞ニュース



h. セントーサ島

セントーサ島には沢山のレジャー施設やアトラクションがあるが、マーライオンに会いたくて出かけた。モノレールで入島しビーチ散策には無料のビーチ・トラムを利用した。マーライオンとマーライオン前の丘のケーブルカー駅付近、島南側のビーチを散策した。



チケット販売所



モノレール始発駅 (MRT ハーバーフロント駅直結)



モノレール



マーライオン最寄り駅



マーライオン (口から噴水は無し)



記念写真屋のレンタル蛇



ビーチ・トラム（無料）



ビーチ



ビーチ



夜のユニバーサルスタジオ前

ビーチのチケットオフエスに夜のショーの案内があった。「ウイングス・オブ・タイム」。夕涼みがてら見ようと入場券 18SGD を購入し、宿に戻って出直した。少年と少女が巨大な鳥と冒険の旅に出ると言うストーリーで映像を駆使したショーだったが、期待外れ。帰路、ユニバーサルスタジオの入場口付近に立ち寄ってみたが、物凄い人出だった。



ナイトショー「ウイングス・オブ・タイム」

(6) グルメ

\* ホーカーズ (フードコート)

中華街にあるクチコミサイトで好評価を獲得している、マックスウェル・フードセンターとチャイナタウンコンプレックスのホーカーズに出かけた。

マックスウェルは中華街の端、外国人客が多い。昼食時の時間帯だったがシャッターを閉じている店が目立った。グルメサイトで人気の天天海南鶏飯には客が長蛇の列。並ぶ気力が無かったので麺料理の金華魚片米粉店で海鮮米麺を食べたが美味しかった。コーラ等の飲物は飲料販売店で市価の半額の1SGDで格安販売していた。

中華街のど真ん中のナタウンコンプレックスのホーカーズにも行った。こちらは交通の便の良いショッピングセンター内にあり地元人で賑わっていた。羊焼肉定食を宿に持ち帰り涼しい部屋でユックリ食べた。私的にはこちらのホーカーズがお勧め。



マックスウェル・フードセンター



金華魚片米粉店



魚肉米麺（4SGD）



グルメサイトで有名な天天海南鶏飯

\* 中華街の麵屋

宿からフードコートに向かったが暑すぎる。途中に日本語の看板を出している麵屋があったので覗いてみた。日本語で話すグループがいたので、ツイツイ引きよされて入店。看板料理の蘭州拉麵汁なしを注文した。味が薄く辛味もなく不味かったので、辛味調味料を頼んだら、小皿にトーガラシペーストが盛られて出された。会計したら、なんと辛味調味料も請求されていた。有料か無料か確かめなかったこちらが悪いが、後味の悪い昼食になった。



店頭日本語広告



蘭州拉麵汁なし

\* チキンライス（鶏飯）

鶏飯はシンガポールやマレーシアでは有名なローカルフードなので、一度は食べてみたいと思っていた。4travel のグルメ評価が4位のオーチャードのマンダリンホテル内にあるチャターボックスに出かけ、空調の効いた部屋でユックリ賞味した。鶏肉は期待以上に柔らかく、味は淡泊で量は十二分。三種のタレ（醤油、しょうが、チリソース）で美味しく頂いたが量が多かったので、終いには飽きてきた。レシートは41.8SGD（内訳：鶏飯 27、コーラ 8.5、サ 10%3.55、税 7%2.73）。この料理は、レストランよりは街の食堂に似合う料理だと思った。



店の看板



鶏飯（チキンライス）

#### \* 宿の朝食



宿のコンチネンタル朝食。  
セルフ。

#### \* シンガポールの水事情

シンガポールは東南アジアでは珍しく水道水が飲める国である。しかも、虫菌予防にフッ素を添加しているとか。ペットボトル水を購入しないで済ませた。  
この水道水は水源不足のため、大部分をマレーシアからパイプラインで輸入していることを、恥ずかしながら知らなかった。水源不足を補うため、下水を浄化して水道水に混合しているようなので、気にする人はペットボトル水を飲用しているのだろう。

#### \* 自家製水出し緑茶

東南アジアのペットボトル飲料は甘い物が多い。お茶の本場の中国のペットボトル緑茶でさえ甘味料が添加されている。

日本の緑茶をペットボトル水に直接加え、冷蔵庫に一晩置くと、冷たい美味しい緑茶が出来上がる。水 500ml に茶葉大サジ 1 ～を加える（お好みで加減）。

今回、緑茶葉を持参し冷たい緑茶を作って飲んだ。

皆さんも、お試しあれ。

\* 酒事情

会友の鈴木さんからマレーシアの酒は日本よりも高いと聞いていたが、シンガポールも高かった。

市中の販売店よりもホーカーズの方が安かったので、ホーカーズから買って宿に持ち帰り飲んだ。

\* 1 SGD ≒ 87円

○高島屋デパ地下スーパー

- ・アサヒスーパードライ缶 6本 : 22.6 SGD (一本約 3.8) 税不明
- ・サントリープレミアム缶 6本 : 28.5 SGD ((一本約 4.8) 税不明
- ・ハイネケン缶 6本 : 19.3 SGD (一本約 3.2) 税不明
- ・日本酒 1.8L 瓶 1本 : 43 SGD 税不明
- ・オーストリアワイン 27.8 SGD (日本の量販店では 900 円台) 税不明
- ・おいしいお茶 (ペット・日本製) 1本 : 3.7 SGD 税不明

○セブンイレブン

- ・サッポロ長缶 1本 : 8.6 SGD 税不明
- ・ハイネケン長缶 1本 : 7.8 SGD 税不明
- ・タイガー長缶 1本 : 6.2 SGD 税不明
- ・コーラ缶 1本 : 2 SGD 税不明

○ホーカーズ

- ・タイガー大瓶 1本 : 6 SGD 税込
- ・コーラ 1本 : 1 SGD 税込

●これでシンガポール編は完結です。